



序論

I はじめに

1. 人口ビジョンと総合戦略の位置づけ

人 口減少・少子高齢化の進行や、人口の東京圏一極集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持するため、国は平成26年(2014)に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、目指すべき将来像を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と今後5か年における政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、本町においても、第1期から第2期にかけて「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の実現に向けさまざまな施策を推進してきた。

▶さらに、国は既存のまち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、デジタル技術を地方の社会課題

解決の鍵として、令和5年度(2023)を初年度とする新たな5か年計画「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定され、本町においても、これまでの第1期および第2期総合戦略における地方創生の取組を継承しつつ、DXの促進などによるデジタルの力を活用しながら地方創生の加速化・深化を図っていく必要がある。

▶そのため、本町の強みや特徴を生かし、地方創生に向けた取組をさらに発展させるにあたって、国や福岡県の動向、社会経済状況の変化、地域課題等を踏まえ、「福智町デジタル田園都市構想総合戦略」を策定し、時代に適応した地域づくりを推進する。

2. 「第3期 福智町デジタル田園都市構想総合戦略」の構成

1 人口ビジョン

本町における人口の現状と将来展望を示す計画。

2 地方創生総合戦略

人口ビジョンを踏まえ、人口減少対策に特化したものを抜粋し、地方創生の実現に向けた基本目標、その取組の方向、具体的な施策を示す計画。

3. 計画期間

令和7年度(2025)～令和11年度(2029)までの5年間とする。

Ⅱ－第2期 福智町総合戦略 の成果

1. 効果検証

基本目標 1 福智町にしごとをつくり、安心して働けるようにする。

1 数値目標

目標指標	目標値	実績値
新規就業者数	200人(5か年計)	228人(令和2年度～4か年実績)
創業事業所数	10事業所(5か年計)	38事業所(令和2年度～4か年実績)
事業創出売上額	15億円(5か年計)	19.4億円(令和2年度～4か年実績)

2 基本的方向

- ① 福智町の地域ブランド化につながる特産品開発や販路開拓を支援する。
- ② 民営化等による公共施設の利活用を推進し、地域活性化を図る。
- ③ 企業誘致の推進基盤や創業支援、相談対応等を強化し、新規就業の増加に結びつける。
- ④ 未来技術を活用した地域課題の解決・改善に向けた活動を推進する。

3 主な成果

- 【1】 ふるさと納税の推進 ▶ 寄附金受領額：147億6千万円(令和2年度～4か年実績)
▶ 寄附リピート率：35.90%(令和5年度)
- 【2】 新規就農の支援 ▶ 認定農家・農業法人7経営体増加(令和2年度～4か年実績)
▶ 新規就農者：7人増加(令和2年度～4か年実績)
- 【3】 企業誘致の促進 ▶ 誘致企業数：3社(令和2年度～4か年実績)
▶ ふるさと納税型企業誘致条例の制定(令和5年度)
- 【4】 未来技術を活用した先駆的事業の実現
▶ AIオンデマンドバス*の導入(令和4年度)

* AI オンデマンド：AI（人工知能）を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行う交通形態のこと。

Ⅱ－第2期 福智町総合戦略の成果

基本目標 2 福智町への新しい人の流れをつくる。

1 数値目標

目標指標	目標値	実績値
創出観光入込客数	120 万人以上(5か年計)	150.5万人(令和2年～4か年実績)
シンボルイベント経済効果額	1億円(5か年計)	未実施(※)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画期間中のシンボルイベント中止

2 基本的方向

- ① 福智町の地域資源を活用した地方創生事業を企画実施し、観光産業への集客増を図る。
- ② 企業連携や自治体間連携のつながりを生かした地域活性化と地域ブランド化を推進する。
- ③ 効果的なタウンプロモーションの展開により、都市圏をターゲットとした交流人口および関係人口の創出・拡大を図り、定住人口の増加へと結びつける。

3 主な成果

- 【1】 観光パンフレットの改訂
 - ▶ 観光パンフレット「ふくち旅」の策定(令和2年度)
 - ▶ 登山ガイドブック「福智山」の策定(令和4年度)
- 【2】 観光ガイドの育成・活動の推進 ▶ ガイドによる観光案内：8回(令和2年度～4か年実績)
- 【3】 カノアラウレアーズ福岡とのフレンドリー・ホームタウン協定の締結
 - ▶ スポーツを通じた関係人口・交流人口の創出(令和3年度から)
- 【4】 観光関連補助事業を活用したイベント・ツアーの実施
 - ▶ 4件(令和2年度～4か年実績)
- 【5】 複合型スポーツ施設「フクチ・ファインド・フィールド」の開設(令和5年度)
 - ▶ フットサル、3人制バスケットボール、スケートボードの専用競技施設

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

1 数値目標

目標指標	目標値	実績値
合計特殊出生率	1.7(R1策定時：1.62)	1.68(平成30年～令和4年)

2 基本的方向

- ① 誰もが夢を持ち、希望どおり結婚し、子どもを生み育てられるような、経済的安定に結びつく環境整備を推進する。
- ② 結婚から子育てまで、継続的な切れ目のないサポートを行い、移住・定住の促進を図る取組を推進し、支援制度を確立する。

3 主な成果

- 【1】 転入若年層(39歳以下)のUターン者割合 ▶ 50% → 26.2% (令和5年度)
- 【2】 若年層の転入者数 ▶ 450人以上(平成30年度 403人) → 423人(令和5年度)
- 【3】 若年層の転出者数 ▶ 450人以下(平成30年度 500人) → 452人(令和5年度)
- 【4】 保育所待機児童数 ▶ 0人継続(令和2年度～4か年実績)
- 【5】 保育料の完全無償化 ▶ 第3子以降無償 → 完全無償化(令和5年度から)
- 【6】 こども家庭センター* の設置(令和6年度から)
 - ▶ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制を整備

* こども家庭センター：従来の「子育て世代包括支援センター（母子保健）」と「こども家庭総合支援拠点（児童福祉）」の機能を統合し、すべてのこどもとその家庭、そして妊産婦に対して、切れ目なく包括的な支援を提供する機関のこと。

- 【7】 幼児・児童に対する予防接種助成事業の継続
 - ▶ 任意のワクチン接種(麻しん風しん、水痘、B型肝炎、おたふくかぜ)への助成

Ⅱ－第2期 福智町総合戦略の成果

基本目標 4 誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。

1 数値目標

目標指標	目標値	実績値
全国学力・学習状況調査において 正答率40%未満の児童・生徒の割合	25%以下 【対象科目】国語・算数(小6) 国語・数学(中3)	対象4科目のうち3科目で25%以下 (令和5年度)
高齢者の要介護認定率	20%以下 (R2.1時 21.9%)	20.94% (R6.4時)
介護保険料算定基準の県内順位 (グループ区分)の向上	グループ区分の向上 (R1時：Aグループ)	Bグループへ向上 (令和6年度)
新たな公共交通網体系の整備	R5までに運行開始	AIオンデマンドバス運行(R5.1導入)

2 基本的方向

- ① 小中学校や地域との連携を強化し、特色ある取組を充実させ、確かな学力の定着と向上を図る。
- ② 高齢者や障がい者等の地域での支え合い体制づくりを推進するとともに、健康寿命を育む「福祉のまち福智」として、独自性かつ先進性の高い取組の実現を図る。
- ③ 住民の貴重な移動手段である公共交通を確保するため、将来にわたって持続可能な地域公共交通網の再構築に取り組む。

3 主な成果

- 【1】「金田義務教育学校」の開校(令和2年度)
 - ▶ 9年間の義務教育期間を一本化し、質の高い教育を目指す新たな教育モデル校
- 【2】GIGAスクール構想の推進(令和3年度から)
 - ▶ 1人1台端末の導入や各教室への電子黒板の設置等によるICT活用教育の実施
- 【3】学校運営協議会の開催率 ▶ 100%(令和2年度～4か年実績)
- 【4】介護予防や認知症予防に関わるボランティア活動支援の継続
 - ▶ 地域における運動教室の活動支援、食生活改善、予防講話・サポーター養成講座等の実施
- 【5】AIオンデマンドバス「ふく～るバス」の導入(令和4年度導入、令和5年度本格運行開始)
 - ▶ 町内バスの運行形態を定期路線型からデマンド型に再構築し、利便性の高い交通体系を整備
- 【6】グローバル人材* 育成事業の実施 ▶ 国際交流や海外ホームステイ研修等の実施(令和5年度から)

* グローバル人材：日本人としてのアイデンティティを持ちながら、異文化や言語を乗り越えて世界で活躍できる人材のこと。
- 【7】電子書籍サービスの導入(令和3年度から) ▶ 「ふくちのち」電子図書館サービスの開始
- 【8】福智町公式LINEの導入(令和5年度から)
 - ▶ LINEアプリを活用した窓口・施設予約のオンライン化や情報発信等のサービス開始